

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【公開番号】特開2019-8816(P2019-8816A)

【公開日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2019-002

【出願番号】特願2018-164799(P2018-164799)

【国際特許分類】

G 16 H 10/00 (2018.01)

G 06 Q 50/22 (2018.01)

A 61 B 5/00 (2006.01)

【F I】

G 06 Q 50/24

G 06 Q 50/22

A 61 B 5/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月4日(2019.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

読み影レポートの作成を支援する支援装置であって、

読み影対象の医用画像データを表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された前記医用画像データにおいて読み影時に注目された領域と判定された注目領域を取得する第1の取得手段と、

前記医用画像データに対応するレポート文に記述されている医学的な領域である記述領域を取得する第2の取得手段と、

前記注目領域と前記記述領域の整合性を判定する判定手段と、

前記判定手段による判定の結果に基づく情報を提示する提示手段と、を備えることを特徴とする支援装置。

【請求項2】

読み影者の視線位置を検出する検出手段をさらに備え、

前記第1の取得手段は、読み影時に検出した視線位置に基づいて前記注目領域を取得することを特徴とする請求項1に記載の支援装置。

【請求項3】

前記第1の取得手段は、前記医用画像データの医学的に分割された領域のうち、領域に含まれる画素の全数に対する視線位置が検出された画素の数の割合が所定値を超える領域を前記注目領域として取得することを特徴とする請求項2に記載の支援装置。

【請求項4】

前記第1の取得手段は、前記医用画像データの分割された領域のうち、領域内に視線位置が検出された時間が所定時間を超える領域を前記注目領域として取得することを特徴とする請求項2または3に記載の支援装置。

【請求項5】

前記第1の取得手段は、前記医用画像データの医学的に分割された領域のうち、読み影時に少なくとも一部が、前記表示手段に設けられた表示領域に表示された領域であって、領

域に含まれる画素の全数に対する表示された画素の数の割合が所定値を超える領域を前記注目領域として取得することを特徴とする請求項1に記載の支援装置。

【請求項6】

前記表示手段はタッチ入力手段を有し、

前記第1の取得手段は、前記医用画像データを表示する前記表示手段へのタッチ入力位置に基づいて前記注目領域を取得することを特徴とする請求項1に記載の支援装置。

【請求項7】

前記医用画像データの医学的に分割された領域は、解剖学的構造に基づいて分割された領域であり、

前記第2の取得手段は、前記レポート文に記述されている解剖学的構造名を前記記述領域として取得することを特徴とする請求項1乃至6のいずれか1項に記載の支援装置。

【請求項8】

前記第2の取得手段は、前記医用画像データを解剖学的構造に基づいて分割して得られたすべての領域の解剖学的構造名をキーワードとして、前記レポート文からキーワードマッチングにより前記記述領域を取得することを特徴とする請求項7に記載の支援装置。

【請求項9】

前記判定手段は、前記注目領域に含まれ前記記述領域に含まれない領域が存在する場合に、前記レポート文に記述漏れがあると判定することを特徴とする請求項1乃至8のいずれか1項に記載の支援装置。

【請求項10】

前記判定手段は、前記記述領域に含まれ前記注目領域に含まれない領域が存在する場合に、前記医用画像データに対する確認漏れがあると判定することを特徴とする請求項1乃至9のいずれか1項に記載の支援装置。

【請求項11】

読影レポートの作成を支援する支援装置の制御方法であって、

読影対象の医用画像データを表示手段に表示する表示工程と、

前記表示手段に表示された前記医用画像データの医学的に分割された領域のうち、読影時に注目した領域と判定された注目領域を取得する第1の取得工程と、

前記医用画像データに対応するレポート文に記述されている医学的な領域である記述領域を取得する第2の取得工程と、

前記注目領域と前記記述領域の整合性を判定する判定工程と、

前記判定工程による判定の結果に基づく情報を提示する提示工程と、を有することを特徴とする支援装置の制御方法。

【請求項12】

請求項11に記載された支援装置の制御方法の各工程をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の目的を達成するための本発明の一態様による支援装置は以下の構成を備える。すなわち、

読影レポートの作成を支援する支援装置であって、

読影対象の医用画像データを表示する表示手段と、

前記表示手段により表示された前記医用画像データにおいて読影時に注目された領域と判定された注目領域を取得する第1の取得手段と、

前記医用画像データに対応するレポート文に記述されている医学的な領域である記述領域を取得する第2の取得手段と、

前記注目領域と前記記述領域の整合性を判定する判定手段と、  
前記判定手段による判定の結果に基づく情報を提示する提示手段と、を備える。